

この学校にわたしたち

2022. 09. 20 N029

サニブラウン選手から学ぶ



この夏、第18回世界陸上競技選手権大会2022がアメリカオレゴン州で開催され、サニブラウン・ハキーム選手が100m決勝で7位入賞を果たしました。

少し前まで“10秒の壁”に阻まれていた日本人選手も今では何名かはその壁を破ることができ、新たな時代に入っていました。しかしながら、サニブラウン選手は予選とはいえ、今回国際大会において日本人で初めて10秒を切ることができたのも偉業を達成したと言えるでしょう。陸上に限らず、有名な選手がどの競技であれ、結果が目されることはある意味、当然のことではありますが、選手自身、結果を出すために自分と戦いながら私たちが想像できないような過酷な練習をしていることは忘れてはいけないと思います。

事実、サニブラウン選手は過去に2度準決勝敗退という苦しい体験をしています。大会前、「過去の自分を超越して前に進みたい」と語ったそうですが、今回にかける思いが並々ならぬものであったのは容易に想像できると思います。スポーツの世界では“ピーキング”という言葉があり、大会の日に最高の力が出るように調整をしていくそうです。私はこの夏のサニブラウン選手の7位入賞というニュースを耳にした時、2つのことを考えさせられました。1つは“(自分に) 負けない心”を持つことです。挫折や失敗は人を強くし、成長させるという言葉がありますが、自分の立てた目標に向けて断じて挑戦をし続けることが大切であるということです。そしてもう一つは、大切なポイントで最高の結果を残せるように“強い精神力を持つ”ということです。子どもたちがこれから生きていく時代はますます先の読めない混とんとした時代です。うまくいくときもそうでないときも今までの時代以上にいろいろあると思います。子どもたちには、そんな時に言い訳をしたり、誰かの責任にしたりするのではなく、前に進んでいく心をもって挑戦をし続けてほしいと思います。その前に、私自身がどう“負けない心”を持つのか、どうやって“強い精神力”で挑戦していくのか…について考えていきたいと思います。

運転手に注意喚起ののぼりの設置

先月28日にハッ山地区青少年を守る会の方から県道沿いに運転手の注意喚起を促すのぼりを設置していただいたと連絡がありました。子どもたちの安全のためにパトロールをしていただいたり、のぼりを購入して設置していただいたりするなど様々な形でご協力をいただき、感謝申し上げます。

